



第41回日本環境感染学会総会・学術集会プログラム

会長講演・理事長講演

7月10日(金) 15:30~16:00 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：賀来 満夫 (聖マリアンナ医科大学)

CPL 日本環境感染学会の今後について

四柳 宏 (第41回日本環境感染学会会長/一般社団法人日本環境感染学会理事長)

副会長講演

7月10日(金) 14:55~15:25 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：木村 哲 (東京医療保健大学 名誉学長)

APL 感染制御を自分の言葉で語ろう！—育てる・つなぐ・未来へバトンを渡す—

吉田 理香 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学)

会長特別企画

7月11日(土) 14:00~15:00 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

大規模自然災害を体験して (岩手・熊本)

座長：櫻井 滋 (東八幡平病院)

川口 辰哉 (熊本保健科学大学)

CPP-1 東日本大震災下の避難所サーベイランスとICAT

加來 浩器 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター)

CPP-2 ICATの熊本地震支援に帯同した協力企業の気づきとその後

笠井 健 (北良株式会社)

CPP-3 熊本地震における熊本県感染管理ネットワークの災害時感染制御活動

藤本 陽子 (熊本大学病院)

CPP-4 熊本地震を経験して—県行政と保健所の立場から—

木脇 弘二 (熊本県 健康福祉部)

副会長特別企画

7月10日(金) 14:00~14:50 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：吉田 理香 (東京医療保健大学/大学院 医療保健学研究科感染制御学)

ACP 感染制御を自分の言葉で語ろう！—感染制御は“人と組織を動かす”マネジメントである—

坂本 すが (東京医療保健大学)

緊急企画

7月9日(木) 16:10~17:10 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

医療機関における COVID-19 伝播に対する抗ウイルス薬の予防投与

座長：堀野 哲也(東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科)
坂本 史衣(板橋中央総合病院)

EP-1 COVID-19 予防のエビデンスと課題

泉川 公一(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)

EP-2 インフルエンザ予防投与の実際

國島 広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

EP-3 COVID-19 に対する予防投与を検討する場面は一重症化リスクを有する患者に対する抗ウイルス予防投与の提案一

掛屋 弘(大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学)

特別企画1

7月9日(木) 16:50~17:50 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

感染制御におけるデジタルトランスフォーメーションを考える

座長：三嶋 廣繁(学校法人朝日大学病院)

SP1-1 医療 DX で再設計する感染管理：感染対策マネジメント支援システム「ManGo」を活用した業務効率化とPDCAの質向上

吉田 葉子(サラヤ株式会社 メディカル事業本部)

SP1-2 AIはICT/ASTの仲間になれるかー感染対策DXの現状と課題ー

飯沼 由嗣(金沢医科大学 臨床感染症学)

SP1-3 感染対策DXの実装一つながるデータ、AI、地域連携はICT/ASTをどう変えるかー

泉川 公一(長崎大学病院総合感染症科・感染制御教育センター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学)

SP1-4 “見える化”の先へ：データ駆動型感染対策の現在地と未来

國島 広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

特別企画2

7月9日(木) 14:30~15:30 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

SP2 医療機関における補助犬同伴受け入れについて～身体障害者補助犬法を知っていますか？～

高柳 友子(社会福祉法人 日本介助犬協会/愛知医科大学医学部)

特別企画3

7月11日(土) 8:30~9:00 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：森屋 恭爾(東京医療保健大学)

SP3 清水喜八郎先生と日本環境感染学会

奥住 捷子(医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 検査技術科)

特別企画4

7月11日(土) 10:10~10:40 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：岡部 信彦(川崎市健康安全研究所)

SP4 故柴 孝也先生を偲んでー日本環境感染学会とともに歩まれた足跡ー

吉田 正樹(新橋南桜パーククリニック/東京慈恵会医科大学)



特別企画5

7月11日(土) 10:00~10:45 第21会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G416+G417)

座長: 小西 敏郎 (東京医療保健大学大学院)

SP5 レジェンドの部屋

大久保 憲 (医療法人幸寿会 平岩病院)

特別企画6

7月11日(土) 11:00~11:45 第21会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G416+G417)

座長: 吉田 理香 (東京医療保健大学/大学院 医療保健学研究科感染制御学)

SP6 ウーマンレジェンドの部屋

洪 愛子 (神戸女子大学)

特別講演1

7月10日(金) 10:40~11:40 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

地域感染症を振り返って

座長: 川村 英樹 (鹿児島大学病院)

千酌 浩樹 (鳥取県立中央病院)

SL1-1 福井県における感染症寄附講座の活動

酒巻 一平 (福井大学医学部 感染症学講座)

SL1-2 岐阜県における感染症寄附講座の活動

手塚 宜行 (岐阜大学 大学院医学系研究科 感染症寄附講座)

特別講演2

7月11日(土) 9:05~10:05 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構)

SL2 2040年に向けた地域包括ケアシステムの進化の方向と課題

武田 俊彦 (一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス)

招請講演1

7月9日(木) 14:30~15:30 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 堤 武也 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

IL1 感染症危機管理体制の強化に向けた国の取組—感染症対応人材の育成を中心に—

木庭 愛 (厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課)

招請講演2

7月9日(木) 15:40~16:10 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構)

IL2 欧州におけるファージ療法の“今”

吉田 敦 (東京都健康長寿医療センター 感染症内科)

招請講演3

7月10日(金) 8:30~9:30 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 高橋 聡 (札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座)

IL3 日本環境感染学会と日本医師会が連携して生まれた新興感染症対策研修～感染対策の専門知識を地域医療の隅々まで浸透させる仕組みを作る～

平林 弘久 (日本医師会 診療所における新興感染症対策研修検討委員会)

招請講演4

7月10日(金) 9:35~10:35 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構)

IL4 インフルエンザ対策の実際～抗ウイルス薬、予防投与、ワクチンの適正使用～

永井 英明 (独立行政法人国立病院機構東京病院)

招請講演5

7月11日(土) 10:45~11:45 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長: 森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

IL5 感染予防ガイドランスの多極化時代～CDC 中心時代の終わりにどう向き合うか

後藤 道彦 (University of Iowa Carver College of Medicine)

招請講演6

7月11日(土) 14:00~15:00 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

座長: 堤 武也 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

IL6 気候変動と感染症の疫学

橋爪 真弘 (東京大学・院・医・国際保健政策学)

シンポジウム1

7月9日(木) 14:30~16:00 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

ICT・職種連携

座長: 森下 幸子 (医療法人利田会久米田看護専門学校)

中澤 靖 (東京慈恵会医科大学附属病院感染対策部)

SY1-1 感染対策の多職種連携—ICD と ICN は、喧嘩してちょうどいい—

忽那 賢志 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

太田 悦子 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

SY1-2 薬剤耐性菌検出事例を契機とした多職種感染対策介入の再構築

笠原 敬 (奈良県立医科大学附属病院 感染管理室/奈良県立医科大学附属病院 感染症内科)

中村 明世 (奈良県立医科大学附属病院 感染管理室)

SY1-3 多職種連携における視点の違いを踏まえたインフルエンザ院内感染対策の検討

小林 里沙 (九州大学病院グローバル感染症センター)

本村 良知 (九州大学病院グローバル感染症センター)

SY1-4 微生物情報を起点とした ICT/AST 活動における多職種連携の意義

植田 貴史 (兵庫医科大学病院 感染制御部/兵庫医科大学 感染制御学)

石川かおり (兵庫医科大学病院 感染制御部)



シンポジウム2

7月9日(木) 14:30~16:00 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

地域で行う抗菌薬の適正使用に向けた取り組み

座長：平山 忍 (東邦大学医療センター大森病院)
村木 優一 (京都薬科大学)

SY2-1 千葉県船橋市の抗菌薬適正使用に向けた取り組み

並木真貴子 (船橋市立医療センター 感染制御室・薬剤局)

SY2-2 加算連携の枠を超えた抗菌薬適正使用の取り組み

西村さやか (高知県立幡多けんみん病院 AST)

SY2-3 杏林大学医学部付属杉並病院における地域で行う抗菌薬適正使用に向けた取り組み

井田 陽子 (杏林大学医学部付属杉並病院 臨床検査部)

SY2-4 地域全体で支える抗菌薬適正使用—臨床微生物検査技師による支援の可能性—

武藤沙起里 (地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院 検査科)

SY2-5 地域で広まる薬剤耐性菌—抗菌薬適正使用の意義と課題

鈴木 里和 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 第1室)

シンポジウム3

7月9日(木) 16:10~17:40 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

マンネリ化しない!多職種で育むこれからのICT ラウンドについて

座長：松島 由実 (岡波総合病院)
藤田 昌久 (日本医大病院)

SY3-1 持続可能なICT ラウンドを目指して—リンクメンバーと築く実践的ICT 体制—

小松崎直美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 感染予防管理部 感染予防対策室)

SY3-2 30年の歴史を紡ぐICT ラウンドの進化—マンネリ化を防ぐ工夫と持続可能な活動の再構築—

西田 和晃 (東京大学医学部附属病院 看護部)

SY3-3 多職種で挑む!モチベーション維持に繋げるICT 活動

幸前 里奈 (京都府立医科大学附属病院 薬剤部)

SY3-4 これからのICT ラウンドを考える—監査型から現場支援型・多職種協働型ラウンドへ—

藤田 直久 (京都岡本記念病院)

シンポジウム4

7月9日(木) 14:30~16:00 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

院内感染対策の「人材育成」を考える

座長：早川佳代子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター）

菊地 圭介（京都府立医科大学病院）

SY4-1 感染対策チームに必要な医師は育てられるのか—医師の立場から考える人材育成と組織形成—

藤田 裕晃（東京医科大学病院）

SY4-2 2040年を見据えた感染管理に従事する看護職の人材育成について考える

渋谷 智恵（公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程）

SY4-3 院内感染対策に関わる薬剤師の人材育成を考える

丹羽 隆（岐阜大学 医学部附属病院 薬剤部/岐阜大学 医学部附属病院 感染制御室）

SY4-4 臨床検査技師の視点から考える人材育成

小棚 雅寛（埼玉医科大学病院 中央検査部/埼玉医科大学病院 感染対策室）

シンポジウム5

7月9日(木) 16:10~17:40 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

病院と地域で Step to Future、高齢者施設との感染対策連携の深みを目指す

座長：仲本 光一（岩手県県央保健所）

森 美菜子（広島大学病院 感染制御部）

SY5-1 新型コロナウイルス感染症による介護老人保健施設のクラスター解析と課題

長澤 茂（一般社団法人岩手県介護老人保健施設協会）

SY5-2 高齢者施設での感染症協力医療機関との連携と感染症対策課での課題

大下 寿（敬仁会 介護老人保健施設 アットホームくずまき）

SY5-3 高齢者施設における感染対策支援の現状と課題—感染管理認定看護師の連携の視点から—

嶋守 一恵（岩手医科大学附属病院/岩手医科大学附属内丸メディカルセンター/ICAT）

SY5-4 地域を基盤とした感染対策連携の進化—感染制御人材の裾野を拓げる—

下沖 収（岩手医科大学 総合診療医学講座）



シンポジウム6

7月9日(木) 16:10~17:40 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

環境消毒薬評価指針 2025—消毒薬・ワイプ製品の選び方—

座長：継田 雅美 (新潟薬科大学 医療技術学部)
中川 博雄 (長崎大学病院薬剤部)

SY6-1 消毒薬評価指針の認知度・活用状況に関する会員アンケート結果と今後の課題

山口 諒 (東京大学医学部附属病院 薬剤部/一般社団法人 日本環境感染学会 消毒薬評価委員会)

SY6-2 消毒薬の有効性評価指針とは—「環境消毒薬の有効性評価指針 2025」改定のポイント—

継田 雅美 (新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科/一般社団法人 日本環境感染学会 消毒薬評価委員会)

SY6-3 環境整備に用いられる製品の法規制の状況と業界の取組み

西尾 正也 (花王株式会社 研究戦略・企画部 レギュラトリーサイエンス戦略)

SY6-4 目的に応じた環境クロス製品の選び方

笹原 鉄平 (自治医科大学附属病院 感染制御部)

シンポジウム7

7月10日(金) 8:30~10:00 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

ICT・ASTにおける多職種から見た検査技師は？進め微生物検査技師よ

座長：高橋 幹夫 (SGグループ/岩手医科大学医学部総合診療医学講座)
成田 和也 (岩手医大附属病院中央検査部)

SY7-1 市中病院 ICT・AST における微生物検査技師のありがたみと医師からの期待

谷崎隆太郎 (市立伊勢総合病院 総合診療教育研究センター)

SY7-2 ICT・AST における多職種から見た検査技師：薬剤師の立場からの考察

浜田 幸宏 (高知大学医学部附属病院 薬剤部)

SY7-3 その名は“片山” 浅ノ川 ICT・AST で無双する～感染管理認定看護師が求める臨床検査技師像～

江波 麻貴 (医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院)

SY7-4 微生物検査技師が変える抗菌薬選択

米田 真也 (岩手医科大学 総合診療医学講座/岩手医科大学附属内丸メディカルセンター)

SY7-5 ICT・AST における臨床微生物検査技師の実践的参画と今後の課題

鷺尾 洋平 (日本医科大学付属病院 臨床検査部)

シンポジウム8

7月10日(金) 10:10~11:40 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

ICNのミッション！ICNが牽引する手指衛生遵守率向上戦略

座長：水野 香里（岩手県立釜石病院）
三浦 美穂（久留米大学病院 感染制御部）

SY8-1 手指消毒剤使用量増加への取り組みーリンクドクター・リンクナース・看護師長との連携の効果ー

河崎 千穂（宮崎大学 医学部 附属病院）

SY8-2 WHO 手指衛生目標値未達成施設が全病棟同時達成に至るまでの実践プロセス

村田 舞（伊勢赤十字病院）

SY8-3 開院2年における手指衛生遵守率向上の取り組みの評価と今後の課題

小柳 浩子（済生会新潟県中央基幹病院）

SY8-4 持続可能な手指衛生改善活動を目指したWHO手指衛生多角的戦略の実践

森野 誠子（独立行政法人 国立病院機構 下志津病院）

シンポジウム9

7月10日(金) 14:00~15:30 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

ICNの人材育成

座長：上灘 紳子（鳥取大学医学部附属病院）
平野 明博（東京大学医学部附属病院）

SY9-1 次世代ICNを意識した看護師教育

森 美菜子（広島大学病院 感染制御部）

SY9-2 戦略的な人材育成と人員確保～専門性を組織の力に変える「見える化」の実践～

美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院）

SY9-3 新米ICNの奮闘記、リンクナースからICNへ

小野友里江（独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター）

SY9-4 地域におけるICNの育成

鈴木 徳洋（市立豊中病院）

シンポジウム10

7月10日(金) 10:10~11:40 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

学んで備えるアウトブレイク対応

座長：原田 壮平（東邦大学）
田辺 正樹（三重大学）

SY10-1 起こるべくして起こったCDIアウトブレイク～現場を確認してはじめてわかった現場の実情～

吉盛奈津美（公立豊岡病院組合立 朝来医療センター）

SY10-2 学んで備えるアウトブレイク対応：CPE対応の経験から考える初動と連携

平井 潤（日本医科大学千葉北総病院 感染制御部）

SY10-3 学んで備えるアウトブレイク対応：インフルエンザ

三嶋 廣繁（学校法人朝日大学病院 感染症内科/愛知医科大学）

SY10-4 疥癬の一般内科病棟におけるアウトブレイク対応から学んだこと

十菱 大介（東京通信病院 感染予防対策室）



シンポジウム11

7月10日(金) 14:00~15:30 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

ICN 活動の充実

座長：萬井美貴子 (住友病院)
一木 薫 (兵庫医科大学病院 看護部)

SY11-1 特定行為研修修了による ICN 実践の深化

新居田敦子 (医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院 看護部)

SY11-2 13年間の専従 ICN を経験し、病棟所属の兼任 ICN となって見えてきたもの・感じたこと～所属施設の変更も経験して～

荒木 大輔 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院)

SY11-3 感染管理の輪を広げる—他領域・多職種・他部門との協働の実際と課題—

平松 玉江 (国際医療福祉大学成田病院 感染制御部)

SY11-4 看護管理者の立場から ICN 活動に期待すること～伴走支援と相互理解がもたらす組織の力～

戸田美穂子 (津久見市医師会立津久見中央病院)

シンポジウム12

7月10日(金) 15:40~17:10 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

医療機関における結核感染対策

座長：東后真奈美 (医療法人溪仁会 札幌西円山病院 TQMセンター感染防止対策室)
関谷 紀貴 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科 感染症健康危機管理学分野)

SY12-1 結核を疑うタイミングと診断前、診断後の対応について

飯沼 由嗣 (金沢医科大学 臨床感染症学)

SY12-2 結核菌検査を感染対策に活かす：3 連痰・塗抹・培養・PCR の実践的解釈

山本 剛 (大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/大阪大学医学部附属病院感染制御部)

SY12-3 中小規模病院における結核感染対策の構築と課題

藤澤 美穂 (社会医療法人 北海道恵愛会 札幌南三条病院)

シンポジウム13

7月10日(金) 8:30~10:00 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

感染症と AI：感染症と AI の未来と感染対策業務への活用

座長：池内 和彦 (東京大学)
笠井 正志 (兵庫県立こども病院)

SY13-1 感染対策業務における生成 AI 活用と AX：現場実装の可能性と課題

福家 良太 (仙台駅スマートクリニック/AI コンサルタント SendAI)

SY13-2 現場から創る AI 時代の感染対策

太田 悦子 (大阪大学医学部附属病院感染制御部)

SY13-3 すでに訪れている未来と感染対策業務への応用

山口 征啓 (コネクト合同会社)

SY13-4 電子カルテ環境における生成 AI 活用の実装と運用

山下 貴範 (九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター)

シンポジウム14

7月10日(金) 10:10~11:40 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

ワンヘルスから見た医療関連感染対策

座長：賀来 満夫 (聖マリアンナ医科大学)
加来 浩器 (防衛医科大学校)

SY14-1 動物由来感染症について

仲村 究 (岩手医科大学 医学部 臨床検査医学・感染症学講座)

SY14-2 環境由来菌について

遠藤 史郎 (東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室)

SY14-3 院内感染対策の院内外への啓発について

大曲 貴夫 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター)

SY14-4 ワンヘルスの視点から考える薬剤耐性菌対策

松本 哲哉 (国際医療福祉大学 医学部 感染症学講座)

シンポジウム15

7月10日(金) 14:00~15:30 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

忘れてはいけない感染症検体採取の重要性・再提出を可能にするには

座長：早川佳代子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター)
和田 直樹 (札幌徳洲会病院臨床検査室)

SY15-1 不適切喀痰はなぜ再提出されないのか

小野寺克洋 (岩手県立胆沢病院 呼吸器内科)

SY15-2 「喀痰品質」へのこだわり 不適切検体と向き合い続けた22年間の軌跡

谷道由美子 (日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部)

SY15-3 検体の質担保に向けた実践的アプローチと再提出につなげる取り組み

千葉美紀子 (東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門)

SY15-4 NAAT 検査の導入を契機に行った Rejection criteria の策定

八幡 照幸 (沖縄県立北部病院/沖縄県立八重山病院/沖縄県立中部病院/沖縄県立南部医療センター・こども医療センター/沖縄県立宮古病院)

シンポジウム16

7月10日(金) 8:30~10:00 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

感染対策と標準化

座長：長島 梧郎 (川崎市立多摩病院 (聖マリアンナ医科大学))
上灘 紳子 (鳥取大学医学部附属病院)

SY16-1 外部評価と感染制御マネジメントの標準化

八木 哲也 (名古屋大学医学部附属病院)

SY16-2 感染対策における標準化の意義—感染管理認定看護師の立場から考える—

菊地 圭介 (京都府立医科大学附属病院 感染対策部)

SY16-3 JCI 認証病院における感染管理の標準化：当院の実践と課題

村中 裕之 (済生会熊本病院 TQM 部)

SY16-4 スマートホスピタル時代における感染対策の実装とは

草場 恒樹 (株式会社モレーンコーポレーション)



シンポジウム17

7月10日(金) 10:10~11:40 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

感染制御と医療経済：ICT・AST がもたらす価値を再考する

座長：長尾 美紀（京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）
小野寺直人（岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座）

SY17-1 ICT 活動と医療経済：院内感染がもたらすデメリット

柿内 聡志（長崎大学病院 総合感染症科 感染制御教育センター）

SY17-2 感染制御はコストか投資か：ICT・AST がもたらす医療経済的価値の再評価

長尾 美紀（京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）

SY17-3 AST 活動と医療経済

浦上 宗治（佐賀大学医学部附属病院 感染制御部）

SY17-4 病院経営からみた感染制御活動

山本 善裕（富山大学副学長・附属病院長）

シンポジウム18

7月10日(金) 14:00~15:30 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

病院環境の清掃について考える

座長：金光 敬二（東北大学大学院医学系研究科）
長尾 美紀（京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部）

SY18-1 ICN と清掃従事者の協働による環境清掃の最適化—感染リスクに応じた層別化とコスト削減の両立—

植村 明美（京都大学医学部附属病院）

SY18-2 在宅での環境整備の現状と課題～訪問看護の立場から～

石川美千留（医療法人相馬病院 訪問看護ステーションそうま）

SY18-3 清掃実務者からみた病院清掃の問題（人材、ロボット、環境消毒、清掃品質、コスト等）

齋藤 真尚（東朋産業株式会社）

SY18-4 清掃業界における感染対策教育

森山 由紀（一般社団法人横浜メディカルグループ）

シンポジウム19

7月10日(金) 15:40~17:10 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

ESBL 産生菌の感染対策（診断・治療も含めて）

座長：山岸 由佳（高知大学医学部臨床感染症学講座）
美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院）

SY19-1 ESBL 産生菌に対する院内サーベイランスと多職種連携による感染対策の実際

秋山 祐哉（高知大学 医学部附属病院 感染管理部/高知大学 医学部附属病院 看護部）

SY19-2 β ラクタマーゼ産生の耐性グラム陰性桿菌に対する効果的な臨床検査

中村 明子（愛知医科大学病院 感染制御部）

SY19-3 抗菌薬適正使用の観点から考える ESBL 産生菌の感染対策

丹羽 隆（岐阜大学 医学部附属病院 薬剤部/岐阜大学 医学部附属病院 感染制御室）

SY19-4 ESBL 産生菌の現状と診断・治療

鈴木 広道（筑波大学附属病院 感染症内科）

シンポジウム20

7月10日(金) 8:30~10:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

いつまでするの?そのコロナ対策は、COVID-19が感染制御にもたらしたもの

座長：山本 善裕(富山大学附属病院感染症科)

中谷 佳子(聖マリアンナ医科大学病院 感染制御部)

SY20-1 大学病院における多面的な COVID-19 感染制御：リスク階層化と AST・ワクチン外来を軸とした新体制の構築

馬場 啓聡(東北大学 大学院 医学系研究科 総合感染症学分野)

SY20-2 新型コロナウイルス感染症対策からの学び

鈴木 直子(岩手県立中央病院 感染管理部(前 岩手県立二戸病院))

SY20-3 COVID-19における2類と5類移行後の比較分析及び今後の対応について～介護老人保健施設での感染対策アンケート調査から～

長澤 茂(一般社団法人岩手県介護老人保健施設協会)

SY20-4 最大限の予防から最適な対策へ 地方衛生研究所の立場から

三崎 貴子(川崎市健康安全研究所)

シンポジウム21

7月10日(金) 10:10~11:40 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

地域連携活動を充実させるサーベイランス

座長：村上 啓雄(ぎふ総合健診センター)

橋本 丈代(福岡大学病院)

SY21-1 地域全体で推進する J-SIPHE を活用した感染対策と抗菌薬適正使用

岡田 恵代(大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部)

SY21-2 三重県における微生物サーベイランスの変遷と現状

安田 和成(三重大学医学部附属病院 検査部/三重大学医学部附属病院 感染制御部)

SY21-3 中小病院における J-SIPHE を活用した双方向型地域連携の取り組み

五十川達哉(国家公務員共済組合連合会新別府病院 薬剤科)

SY21-4 ローカルな多施設研究で見えてくること

森岡 悠(名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部)



シンポジウム22

7月10日(金) 14:00~15:30 第16会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G403+G404)

民間精神科病院における感染対策と地域連携の構築～東京精神科病院協会の活動報告と今後の展望

座長：糠信 憲明 ((一社)精神科領域の感染制御を考える会)
高濱 正和 (植木病院)

SY22-1 東京精神科病院協会の感染症対策委員会の概要

西村 和子 (公益財団法人 井之頭病院/東京精神科病院協会 感染症対策委員会)

SY22-2 感染担当者連絡会および院内感染対策研修会の活動報告

金成 千鶴 (医療法人財団 青溪会 駒木野病院/一般社団法人 東京精神科病院協会 感染症対策委員会)

SY22-3 東京都内の民間精神科病院における感染対策の現状と変遷—東京精神科病院協会による継続的アンケート調査の結果から—

川内 健史 (医療法人社団積信会 長谷川病院)

SY22-4 東京精神科病院協会感染症対策委員会による COVID-19 クラスター支援・研修・マニュアル作成について

池ヶ谷訓章 (昭和医科大学烏山病院)

パネリスト：森田 亮一 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター)

シンポジウム23

7月10日(金) 14:00~15:30 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

疥癬のアウトブレイク対応

座長：牧上久仁子 (東京品川病院)
黒須 一見 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

SY23-1 高齢者福祉施設における疥癬アウトブレイクの実地疫学調査から明らかとなった要因と課題

高橋あずさ (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター)

SY23-2 疥癬の地域的集団発生に対する感染拡大防止の取り組み—感染管理認定看護師主導で取り組んだ地域ネットワークの構築—

中山 秀明 (JA 長野厚生連 下伊那厚生病院 感染対策室)

SY23-3 「地域ケアにおける疥癬対応マニュアル」改訂と普及の取り組み～東京都多摩立川保健所～

土方 奈々 (東京都杉並区 杉並保健所)

SY23-4 疥癬のアウトブレイクに遭遇したあなたに伝えたいこと

牧上久仁子 (東京品川病院)

シンポジウム24

7月10日(金) 8:30~10:00 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

抗菌薬アレルギーに対するデラベリングの考え方と実践

座長：日馬 由貴(大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御学)

松元 一明(慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座)

SY24-1 抗菌薬アレルギー時の代替療法とデラベリングの重要性

酒井 義朗(久留米大学病院 薬剤部)

SY24-2 ベータラクタムアレルギーに対するデラベリングプロトコルを実践するための考察

石川 和宏(江戸川病院感染制御部)

SY24-3 抗菌薬アレルギーの正確な情報収集と把握、抗菌薬選択支援体制の構築に向けた取り組み

茂見 茜里(鹿児島大学病院 感染制御部)

SY24-4 抗菌薬アレルギー登録システムの現状と課題

小林 里沙(九州大学病院グローバル感染症センター)

SY24-5 抗菌薬アレルギーに対するデラベリングの実践と課題—アレルギー中心拠点病院における取り組み—

原間 大輔(国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科/山梨大学 医学部 小児科)

シンポジウム25

7月10日(金) 14:00~15:30 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

SFTS

座長：加藤 康幸(国際医療福祉大学 医学部 感染症学)

氏家 無限(国立健康危機管理研究機構)

SY25-1 日本における重症熱性血小板減少症(SFTS)の包括的な疫学解析

加藤 博史(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所)

SY25-2 SFTSに関する最近の話題

前田 健(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 獣医科学部)

SY25-3 西三河北部医療圏におけるSFTS流行拡大への対応—2025年アウトブレイクを教訓とした院内・地域・行政連携の実践—

渡口 賢隆(JA愛知厚生連 豊田厚生病院 総合内科)

SY25-4 SFTSの治療と感染対策

泉川 公一(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)



シンポジウム26

7月11日(土) 8:30~10:00 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

感染症を予防するための抗菌薬の使い方とポリファーマシー対策

座長：松元 一明(慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座)
池谷 修(慶應義塾大学病院学術研究支援課)

SY26-1 手術時の予防抗菌薬適正使用への取り組みと課題

高橋 佳子(兵庫医科大学病院 薬剤部)

SY26-2 血液内科領域における予防的抗微生物薬の使い方

坂本 靖宜(横浜市立大学附属病院 薬剤部)

SY26-3 歯科領域における予防的抗菌薬の適切な使用方法—SSI リスク評価による適正化へのアプローチ—

山神 彰(慶應義塾大学 薬学部)

SY26-4 De-escalation は感染症や耐性菌の発生を抑制できるのか?

前田 真之(昭和医科大学 薬学部 臨床薬学講座 感染制御薬学部門)

SY26-5 感染症診療を薬剤全体から捉える：高齢者ポリファーマシー対策の実践

島崎 良知(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 薬剤科)

シンポジウム27

7月11日(土) 10:10~11:40 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

求められる医療従事者のワクチンとその現状

座長：掛屋 弘(大阪公立大学)
新庄 正宜(慶應義塾大学医学部 小児科)

SY27-1 医療関係者ワクチンの国際的潮流と日本での実装課題

田中 健之(長崎大学 熱帯医学研究所 臨床感染症学分野/長崎大学病院 総合感染症科)

SY27-2 医療従事者および学生を対象としたワクチン情報の一元管理

田内 久道(愛媛大学医学部 附属病院 感染制御部/愛媛大学大学院 感染制御学)

SY27-3 小児病院における、抗体価とワクチン歴管理

新庄 正宜(防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部/慶應義塾大学病院 小児科)

SY27-4 市中急性期病院における医療従事者へのワクチン接種の管理と対応

松原 啓太(社会医療法人三栄会ツカザキ病院 小児科)

シンポジウム28

7月11日(土) 10:10~11:40 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

高齢者・障害者ケア領域における感染対策～感染対策の実際と連携に着目して～

座長：興梠 裕樹（高千穂町国民健康保険病院）
菅原えりさ（一般社団法人感染防止教育センター/東京医療保健大学）

SY28-1 【高齢者ケア領域】高齢者施設における医療機関との連携と感染対策の実際と課題—高齢者施設等感染対策向上加算取得に向けた取り組みを中心に—

佐々木恭兵（医療法人社団 国立あおやぎ会 介護老人保健施設 国立あおやぎ苑）

SY28-2 【障害者ケア領域】精神科・重症心身障害児(者)病棟における感染対策の実際と連携の課題

比嘉理恵美（独立行政法人国立病院機構 都城医療センター）

SY28-3 【医療機関】高齢者・障害者ケア施設との連携の実際と具体策の提案

高山 直樹（独立行政法人国立病院機構天竜病院）

シンポジウム29

7月11日(土) 14:00~15:30 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

対応に苦慮する場面における抗菌薬適正使用

座長：堀野 哲也（東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科）
原田 壮平（東邦大学）

SY29-1 非常勤感染症専門医と行う新しい視点での市中病院 AST 活動

小野 朗弘（JCHO 横浜中央病院 薬剤部）

SY29-2 特殊な環境下での抗菌薬適正使用—地域連携の場合—

中居 肇（大館市立総合病院 感染制御室/薬剤科）

SY29-3 がん患者の抗菌薬適正使用

冲中 敬二（国立がん研究センター東病院）

SY29-4 特殊な患者における抗菌薬適正使用：固形腫瘍患者の場合

倉井 華子（静岡県立静岡がんセンター）

シンポジウム30

7月11日(土) 8:30~10:00 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

どこまでやるの？居住系施設での感染対策

座長：篠原 久恵（訪問看護ステーション レジハピ）
高山 和郎（東京大学医学部附属病院薬剤部）

SY30-1 どこまでやるの？居住系施設での感染対策～呼吸器感染症～

家入 裕子（山口県立大学 看護栄養学部 看護学科）

SY30-2 居住系施設における腸管感染症対策—「どこまでやるか」をどう判断するか—

萩野 貴志（NTT 東日本札幌病院 感染管理推進室）

SY30-3 住居系施設における疥癬アウトブレイク対策

三浦 美穂（久留米大学病院 感染制御部）

SY30-4 病院における AST の常識はどこまで通用するのか

笹原 鉄平（自治医科大学附属病院 感染制御部）



シンポジウム31

7月11日(土) 10:10~11:40 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

サーベイランスを活用した質改善活動

座長： 縣 智香子 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野)
嶋 雅範 (三菱京都病院)

SY31-1 プロセスサーベイランスを活用した質改善活動とリンクワーカーとの協働

近藤奈津子 (JA 北海道厚生連旭川厚生病院 感染対策科)

SY31-2 包括的サーベイランスを活用した CLABSI 対策一組織で取り組む質改善の実践

藤井 昭人 (大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部)

SY31-3 CAUTI 低減への多段階の質改善活動：リンクナース参画による形骸化打破

甲斐 美里 (済生会熊本病院 TQM 部 感染管理室)

SY31-4 手術部位感染 (SSI) サーベイランスを活用した質改善活動

佐野 由佳 (広島大学病院 感染制御部)

シンポジウム32

7月11日(土) 14:00~15:30 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

薬剤耐性菌アウトブレイク時の医療機関および行政との連携

座長： 山岸 拓也 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター第四室)
黒須 一見 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

SY32-1 薬剤耐性菌アウトブレイク対応としての実地疫学調査—国立感染症研究所実地疫学専門家養成コースと医療機関・行政の連携—

大野 智裕 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

SY32-2 長期にわたるバンコマイシン耐性腸球菌アウトブレイク対応と地域連携の意義～4年8か月の経験から得た学び～

白井 保子 (沼津市立病院)

SY32-3 大分県における VRE アウトブレイクへの行政の対応

池邊 淑子 (大分県 福祉保健部 健康政策・感染症対策課)

SY32-4 薬剤耐性菌アウトブレイクに院内・地域の「チーム」で対峙する

藤谷 好弘 (札幌医科大学 医学部 感染症講座微生物学分野/感染症学分野)

シンポジウム33

7月11日(土) 10:10~11:40 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

真菌症の院内感染対策～最新の知見と課題～

座長：國島 広之 (聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

猪狩 英俊 (千葉大学医学部附属病院 感染制御部)

SY33-1 地球・真菌・ヒト：ワンヘルスの視点から考える真菌感染症の院内感染対策

榎村 浩一 (帝京大学 医真菌研究所/帝京大学大学院 医学研究科 宇宙環境医学医真菌学)

SY33-2 アスペルギルス症に対する環境管理と薬剤耐性を踏まえた院内感染対策

田代 将人 (横浜市立大学大学院医学研究科 感染症内科学/横浜市立大学附属病院 感染制御部/横浜市立大学 新興感染症研究センター)

SY33-3 真菌を見つけるのは検査室だけの仕事かー院内感染対策につなげる検体提出時の情報共有ー

鈴木まりな (地方独立行政法人東京都立病院機構 がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科)

SY33-4 腎移植外来におけるニューモシスチス肺炎アウトブレイクから学ぶ

大野 誉子 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院)

シンポジウム34

7月11日(土) 14:00~15:30 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

手術室の環境衛生を強化する

座長：針原 康 (医療法人社団大坪会 東和病院)

塚田 真弓 (東邦大学病院)

SY34-1 手術室の水質管理

深柄 和彦 (東京大学 医学部附属病院 手術部)

SY34-2 手術室における持続可能な空調管理体制の構築

赤瀬 望 (市立豊中病院)

SY34-3 整形外科領域での手術室の環境衛生強化

山田 浩司 (医療法人社団悠愛会 溝ノ口整形外科/一般社団法人 OrthoSupport/東京大学 整形外科)

SY34-4 患者安全を支える手術室清掃と多職種協働～術間・術後清掃の現場から見える連携のかたち～

高田 恵 (ワタキューセイモア株式会社)

シンポジウム35

7月11日(土) 8:30~10:00 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

シミュレーション&ケーススタディ：新人もベテランも学ぶ！感染対策の判断分岐点

座長：興梠 裕樹 (高千穂町国民健康保険病院)

寺坂 陽子 (長崎大学病院 感染制御教育センター)

SY35-1 麻疹症例で考える感染対策の判断分岐点

日高 悠介 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター)

早川佳代子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター)

SY35-2 角化型疥癬症例で考える感染対策の判断分岐点

正司麻衣子 (東京大学医学部附属病院 看護部)

平野 明博 (東京大学医学部附属病院 感染対策センター)



シンポジウム36

7月11日(土) 10:10~11:40 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

中小規模病院で取り組む感染管理活動

座長：東后真奈美(医療法人溪仁会 札幌西円山病院 TQMセンター感染防止対策室)
山口 征啓(コネクト合同会社)

SY36-1 リンクスタッフ活動～中小規模病院の特性を活かしたリンクスタッフ支援の形～

中西 穂波(医療法人八女発心会 姫野病院)

SY36-2 【サーベイランス】中小規模病院におけるサーベイランス体制構築—非専門部門との連携によるデータ一元化と段階的導入の実践報告—

勝平 真司(社会医療法人純幸会関西メディカル病院)

SY36-3 【感染管理教育】景色を分かち合うための感染管理教育

串間真由美(社会医療法人慶明会 けいめい記念病院)

SY36-4 【地域連携】地域における感染対策連携強化のための取り組み

木下 庸佑(医療法人伯鳳会 東京曳舟病院)

シンポジウム37

7月11日(土) 14:00~15:30 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

特定行為「感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与」の実践と展望—感染に係る薬剤投与関連修了者に求められる役割と活躍の可能性—

座長：武良 由香(公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 感染管理学科)
網中真由美(国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校)

SY37-1 急性期病院における抗菌薬臨時投与の意義と課題—特定行為の運用見直しを通じて—

佐竹 孝文(日本赤十字社 徳島赤十字病院)

SY37-2 「感染に係る薬剤投与関連」修了者に期待されるチーム医療推進

洪 愛子(神戸女子大学)

SY37-3 感染症医の立場からみた特定行為修了者との協働—特定行為の実践で見据えるべき真のゴールとは?—

三村 一行(埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 感染症科・感染制御科)

合同シンポジウム

7月9日(木) 16:10~17:30 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

NICUにおけるワクチン

座長：野崎 昌俊(大阪母子医療センター周産期・小児感染症科/新生児科)
美島 路恵(東京慈恵会医科大学附属病院)

JSY-1 NICU入院児、特に早産児における予防接種の考え方と対応

島 孝典(大阪母子医療センター新生児科)

JSY-2 NICUにおけるワクチン接種時の感染対策

神崎多紀子(総合病院 山口赤十字病院)

JSY-3 NICUにおけるきょうだい面会者・医療者へのワクチン接種

小泉 亜矢(群馬県立小児医療センター 新生児科)

JSY-4 母体ワクチンの現在とこれから

堀越 裕歩(東京都立小児総合医療センター 総合診療部 感染症科、免疫科/東京都立小児総合医療センター 小児感染症センター)

パネルディスカッション1

7月9日(木) 16:10~17:40 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

「手指衛生」、現在地と向かうべき方向

座長：堀 賢(順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学)
中村 造(東京医科大学病院 感染制御部)

PD1-1 手指衛生の遵守状況とモニタリング法

森野 誠子(独立行政法人 国立病院機構 下志津病院)

PD1-2 手指衛生に関する認識具合と意識改善のための教育

中村 造(東京医科大学病院)

PD1-3 当院における WHO 多角的戦略を用いた課題整理と改善策

増谷 瞳(慶應義塾大学病院 感染制御部/慶應義塾大学病院 看護部)

PD1-4 手指衛生の改善は、臨床ガバナンスと組織マネジメントで達成する

堀 賢(順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学)

パネルディスカッション2

7月10日(金) 10:10~11:40 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

感染症対策における医薬品供給不安とその対応

座長：具 芳明(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野)
関 雅文(埼玉医科大学医学部 国際医療センター感染症科・感染制御科)

PD2-1 我が国の医薬品の安定供給

松下 俊介(厚生労働省)

PD2-2 抗菌薬供給不安が続く今こそ一ピンチをチャンスに変える適正使用戦略と現場実践

岸田 直樹(一般社団法人 Sapporo Medical Academy)

PD2-3 感染症対策における医薬品供給不安とその対応～ワクチンについて

多屋 馨子(神奈川県衛生研究所)

パネルディスカッション3

7月10日(金) 14:00~15:30 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

臨床研究ネットワークの構築

座長：上原 由紀(順天堂大学)
藤村 茂(東北医科薬科大学 臨床感染症学教室)

PD3-1 臨床研究ネットワークの構築の取り組み

齋藤 翔(国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター)

PD3-2 感染症領域における臨床研究ネットワークの構築：COVID-19の教訓とネクストパンデミックへの備え

南宮 湖(慶應義塾大学 医学部 感染症学教室)

PD3-3 SNAP 試験の経験から

岡本 耕(東京科学大学 統合臨床感染症学分野)



パネルディスカッション4

7月10日(金) 15:40~17:10 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

医療機関と保健所の効果的なネットワーク構築

座長：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)
近内美乃里 (神奈川県鎌倉保健福祉事務所)

PD4-1 「院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業」事業班の活動経過から

豊田 誠 (高知市保健所)

PD4-2 VRE 感染症対策をきっかけとした感染症対策ネットワークの構築

神戸 千佐 (和歌山市保健所)

PD4-3 感染症対策ネットワーク活動を基盤とした高齢者施設等への感染対策

廣瀬智恵子 (吹田市 健康医療部 保健医療総務室)

PD4-4 医療機関と保健所の効果的なネットワーク構築に関する考察—感染管理担当者の実践経験を通して—

枘田美加子 (橋本市民病院)

パネルディスカッション5

7月10日(金) 8:30~10:00 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

VRE 感染対策 AMR アクションプランの成果指標は達成できるのか？

座長：鈴木 里和 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)
加藤 英明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

PD5-1 バンコマイシン可変性腸球菌(VVE: Vancomycin variable enterococci) (ステルス型) の現状からみる VRE 感染対策

宮崎 博章 (小倉記念病院 感染管理部)

PD5-2 大分県の現状と課題

平松 和史 (大分大学 医学部 医療安全管理医学講座)

PD5-3 地域における感染制御ネットワークを活用した VRE アウトブレイク対応と課題

寺坂 陽子 (長崎大学病院 感染制御教育センター)

PD5-4 我が国におけるバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) の現状

鈴木 里和 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 第1室)

パネルディスカッション6

7月10日(金) 10:10~11:40 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

特殊な水衛生設備の感染対策を考える

座長：八木 哲也(名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学)

泉川 公一(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野)

PD6-1 無菌室・手術室の水感染対策

中村 造(東京医科大学病院 感染制御部・感染症科)

PD6-2 歯科治療に使用される水について考えてみませんか(考えたことありますか)?一歯科診療チェア一

松本 和浩(大阪歯科大学 歯学部 口腔外科学第1講座)

PD6-3 快適さが生んだ盲点~ウォーターサーバー・製氷機・加湿器などの“医療機器未満”のリスク管理~

中村 麻子(国際親善総合病院)

PD6-4 冷却塔水のレジオネラ属菌による感染リスクと防止対策

縣 邦雄(アクアス株式会社 つくば総合研究所)

パネルディスカッション7

7月10日(金) 14:00~15:30 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

抗菌薬適正使用

座長：青柳 哲史(東北大学)

池谷 修(慶應義塾大学病院学術研究支援課)

PD7-1 抗菌薬適正使用

小林美奈子(三重大学 感染制御部)

PD7-2 抗菌薬適正使用における微生物検査室の役割

佐々木雅一(東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部)

PD7-3 抗菌薬適正使用支援における 6R 遵守に向けた看護師の役割と当院における多職種連携している取組み

塚田 真弓(東邦大学医療センター大森病院)

PD7-4 6R と PK/PD 理論に基づく抗菌薬適正使用

浜田 幸宏(高知大学医学部附属病院 薬剤部)



パネルディスカッション8 7月10日(金) 15:40~17:10 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

多剤耐性菌対策—対応の実際と課題—

座長：千酌 浩樹（鳥取県立中央病院）

馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 感染制御室/生体支援センター）

PD8-1 ICUにおけるシンクに関連した KPG-2 産生腸内細菌目細菌のアウトブレイク事例：分子疫学的調査と感染対策の実際

土井 朝子（神戸市立医療センター中央市民病院 感染症科/神戸市立医療センター中央市民病院 感染管理室）

PD8-2 VRE アウトブレイクを経験して～対応と課題～

竹村 美和（滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部）

PD8-3 CPE 検出時の積極的介入戦略—接触者スクリーニングと分子疫学的解析の実際と課題—

岡 圭輔（名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部）

PD8-4 多剤耐性菌対策における院内活動と地域連携の実際—リンクスタッフ支援・行政との協働・ICN ネットワークの構築—

植村 明美（京都大学医学部附属病院）

パネルディスカッション9 7月11日(土) 14:00~15:30 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

隣の感染対策～就業制限編～

座長：尾崎 浩美（弘前大学医学部附属病院）

川西 史子（大阪医科薬科大学病院）

PD9-1 「就業制限を守る」と「現場を維持する」の狭間で—327 床中小病院における感染対策の葛藤—

橋本 渚（社会福祉法人 恩賜財団大阪府済生会千里病院）

PD9-2 職員感染症罹患時の就業制限について

上田 史子（社会福祉法人 石井記念愛染園附属 愛染橋病院）

PD9-3 職員の感染症罹患時における就業制限判断と院内運用の実際

藤井 昭人（大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部）

PD9-4 複数の県立病院間で異動がある職員の就業制限基準統一への取り組みと現実

大利 美香（宮崎県立宮崎病院 感染管理科）

パネルディスカッション10

7月11日(土) 8:30~10:00 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

中央材料部とICTの連携強化

座長：四宮 聡(箕面市立病院感染制御部)
大石 貴幸(済生会横浜市東部病院)

PD10-1 リコールは、悪ではない

齋藤 篤(大阪大学 医学部 附属病院)

PD10-2 洗浄・滅菌工程の安全をどう考えるかー中央材料部とICT連携の取り組みー

武内未来子(医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院)

PD10-3 受託企業目線からの連携実態

大町 智之(ワタキューセイモア株式会社 メディカル営業本部 請負事業部 滅菌管理課)

PD10-4 滅菌供給部門と感染制御チームとの連携強化の重要性ー現場から見た課題と改善活動の実際ー

斉藤 貴志(広島市立北部医療センター安佐市民病院)

パネルディスカッション11

7月11日(土) 10:10~11:40 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

地域での新興感染症等対応訓練の実践

座長：藤田 利枝(全国保健所長会)
川村 英樹(鹿児島大学病院)

PD11-1 連携協議会を核とした多層的訓練スキームの統合と専門医ネットワークによる地域展開

笠原 敬(奈良県立医科大学 感染症内科学講座)

PD11-2 コロナ禍を経た地域連携 WE-AID(秋田の感染症に知恵を出し合う会)を基盤とした新興感染症対応の取り組み

嵯峨 知生(秋田大学医学部附属病院 感染制御部/秋田大学大学院医学系研究科附属感染制御総合センター 感染統括制御部門)

PD11-3 保健所職員と医療従事者を対象とした実事例に基づくケーススタディによるアウトブレイク対応力強化研修

山岸 拓也(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター)

PD11-4 川崎市における新興・再興感染症発生等想定訓練

三崎 貴子(川崎市健康安全研究所)



パネルディスカッション12

7月11日(土) 14:00~15:30 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

消毒薬適正使用の取り組みの実際

座長：植田 貴史(兵庫医科大学 感染制御学)
西村 信弘(国際医療福祉大学福岡薬学部)

PD12-1 退院時環境消毒における過酸化水素噴霧装置の適正使用—COVID-19、耐性菌、Clostridioides difficile 患者病室のターミナル清掃—

久留宮 愛(愛知医科大学病院 感染制御部)

PD12-2 消毒薬適正使用を現場に定着させるために—標準化、教育、現場確認をつなぐ取り組み—

下平 智秀(東京医科大学病院 薬剤部/東京医科大学病院 感染制御部)

PD12-3 消毒薬を製造・販売する企業における消毒薬有効性評価指針の活用事例

梶浦 工(吉田製薬株式会社 研究開発本部)

PD12-4 長崎大学病院が目指す抗菌薬適正使用

今村 政信(長崎大学病院薬剤部/長崎大学病院感染制御教育センター)

PD12-5 アルコール過敏症者に配慮した低刺激性手指消毒薬の適正使用への示唆

浜田 幸宏(高知大学医学部附属病院 薬剤部)

パネルディスカッション13

7月11日(土) 8:30~10:00 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

徹底的に考える、標準予防策の教育と実践

座長：高野八百子(慶應義塾大学病院 感染制御部)
鍋谷 佳子(大阪大学医学部附属病院)

PD13-1 今一度見直そう 標準予防策

吉田 理香(東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学)

PD13-2 患者参加型の手指衛生プログラムによる医療者の手指衛生への効果

渡邊 裕介(東京医科大学茨城医療センター 集中治療部)

PD13-3 全職員を対象としたクリーンハンドキャンペーンの実施

植田 貴史(兵庫医科大学病院 感染制御部)

PD13-4 ボトムアップ型感染対策の推進—リンクメンバー制度による現場改革—

小松崎直美(順天堂大学医学部附属順天堂医院 感染予防管理部 感染予防対策室)

パネルディスカッション14

7月11日(土) 8:30~10:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

多職種で取り組むアウトブレイク・ケーススタディ

座長：笠原 敬 (奈良県立医科大学附属病院 感染症内科・感染管理室)

山本 剛 (大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/医学部附属病院感染制御部)

PD14-1 黒色真菌血症を契機に環境調査から感染対策につなげた事例

高橋 佑輔 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

戎 諒子 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

砂田 淳子 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

太田 悦子 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

忽那 賢志 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部)

PD14-2 当院で経験した複数病棟にまたがる VRE アウトブレイク

小林 勇仁 (東京医科大学病院 感染制御部)

奥川 麻美 (東京医科大学病院 感染制御部)

三浦 悠里 (東京医科大学病院 感染制御部)

下平 智秀 (東京医科大学病院 感染制御部)

パネルディスカッション15

7月11日(土) 8:30~10:00 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

知りたい&議論したい! 血管内カテーテル管理 Series 1 (CV、CV ポート、PICC)

座長：中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部)

野田 洋子 (亀岡シミズ病院)

PD15-1 CVC、CVP、PICC による血管内カテーテル感染症のガイドライン・エビデンスレビュー

岡本 耕 (東京科学大学 統合臨床感染症学分野)

PD15-2 血管内カテーテル管理における感染対策—ICU における中心ライン関連血流感染 (CLABSI) 発生率増加を契機とした対策と実践—

秋山 祐哉 (高知大学 医学部附属病院 感染管理部/高知大学 医学部附属病院 看護部)

PD15-3 PICC の普及は CRBSI 対策に寄与するのか—特定行為看護師による PICC 挿入件数の増加とカテーテル管理の重要性—

跡治江理奈 (柏厚生総合病院 看護部)

パネルディスカッション16

7月11日(土) 10:10~11:40 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

知りたい&議論したい! 血管内カテーテル管理 Series 2 (末梢カテーテル、噂のミッドライン)

座長：中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部)

野田 洋子 (亀岡シミズ病院)

PD16-1 末梢血管カテーテルとミッドラインカテーテルの感染対策エビデンスレビュー

中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部・感染症科)

PD16-2 末梢静脈カテーテルの感染対策とデバイス管理の再考

松澤真由子 (東京慈恵会医科大学附属病院)

PD16-3 当院の Midline 導入に向けた取り組みと導入後の効果—患者と看護師にとっての最適なデバイス選択を目指して—

西脇 直美 (市立長浜病院)



パネルディスカッション17 7月11日(土) 14:00~15:30 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

医療施設における水衛生の感染対策を考える

座長：八木 哲也(名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学)
笹原 鉄平(自治医科大学附属病院 感染制御部)

PD17-1 医療施設における水系感染症のオーバービュー

岡 圭輔(名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部)

PD17-2 上水設備・吐水口

高城 一郎(宮崎大学医学部附属病院 感染制御部)

PD17-3 手洗いシンクの衛生管理を考える

笹原 鉄平(自治医科大学附属病院 感染制御部)

PD17-4 院内排水管の清掃・消毒～感染制御の“死角”をどう管理するか～

柿内 聡志(長崎大学病院 総合感染症科 感染制御教育センター)

パネルディスカッション18 7月11日(土) 14:00~15:30 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

感染症インテリジェンス機能と人材育成

座長：千酌 浩樹(鳥取県立中央病院)
山本 善裕(富山大学附属病院感染症科)

PD18-1 大阪健康安全基盤研究所における、感染症インテリジェンス機能と人材育成

本村 和嗣(地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部)

PD18-2 大学病院における感染症医育成—日本でのニーズを踏まえた取り組み—

田頭 保彰(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野/東京科学大学病院 感染症内科・感染制御部/東京科学大学 感染症センター(TCIDEA))

PD18-3 地方大学の感染症インテリジェンスへの関わりについての一考察

古本 朗嗣(長崎大学病院総合感染症科・感染症医療人育成センター)

PD18-4 感染症インテリジェンス人材育成に大学病院が果たす役割

中澤 靖(東京慈恵会医科大学附属病院)

ベーシックレクチャー1 7月9日(木) 16:30~17:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

座長：大毛 宏喜(広島大学)

BL1 病院機能評価受審に向けてのポイント

長島 梧郎(医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院/公益財団法人日本医療機能評価機構)

ベーシックレクチャー2 7月9日(木) 17:05~17:35 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

座長：満田 年宏(遠藤医院(神奈川県平塚市))

BL2 薬剤感受性検査結果を正しく理解するために

黒沼 幸治(札幌医科大学 医学部 感染学講座感染症学分野)

ベーシックレクチャー3 7月10日(金) 8:30~9:00 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 山田 智之 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部)

BL3 バンコマイシン TDM における 2 点採血の必要性を実践から考える

鈴木 絢子 (北里大学 薬学部 薬物動態学/北里大学病院 薬剤部)

ベーシックレクチャー4 7月10日(金) 9:05~9:35 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 小野 和代 (東京科学大学病院)

BL4 今こそ基本に立ち返ろう! 麻疹の基本的な感染対策

須田江津子 (埼玉医科大学総合医療センター)

ベーシックレクチャー5 7月10日(金) 9:40~10:10 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 上原 由紀 (順天堂大学)

BL5 疥癬研究者が疥癬に罹ってみてわかったことーセルフ症例報告

牧上久仁子 (東京品川病院)

ベーシックレクチャー6 7月10日(金) 10:15~10:45 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 崎浜 智子 (久留米大学医学部看護学科/大学院感染看護学分野)

BL6 基本に立ち返る・CAUTI 対策

齊藤 悟 (前橋赤十字病院)

ベーシックレクチャー7 7月10日(金) 10:50~11:20 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 小林 治 (国立がん研究センター中央病院)

BL7 下水から読み解く感染症: 流行動態とそのメカニズム

村上 道夫 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点)

ベーシックレクチャー8 7月10日(金) 14:00~14:30 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 本田 仁 (藤田医科大学)

BL8 CDI サーベイランスの現状と課題~診断適正使用のターゲットとして~

田頭 保彰 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野/東京科学大学病院 感染症内科・感染制御部/東京科学大学 感染症センター (TCIDEA))

ベーシックレクチャー9 7月10日(金) 14:35~15:05 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 貫井 陽子 (京都府立医科大学)

BL9 ICT が知っておきたい情報のまとめ方の基本

塚田 敬子 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター)



ベーシックレクチャー10

7月10日(金) 15:10~15:40 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 岡森 景子 (社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院)

BL10 感染管理チームが知っておきたい基本的なPCスキル—Excel・PowerPointとAIの活用術—

濱野 飛鳥 (社会医療法人畿内会 岡波総合病院)

ベーシックレクチャー11

7月10日(金) 8:30~9:00 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 豊川 真弘 (福島県立医大)

BL11 血液培養に基づくAST活動における微生物検査技師の役割

松尾 裕央 (大阪大学医学部附属病院 感染制御部/感染症内科)

ベーシックレクチャー12

7月10日(金) 9:05~9:35 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 具 芳明 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野)

BL12 デザイン思考からアプローチする感染対策

井戸 健二 (株式会社東芝 DX・デザイン&コミュニケーション部)

ベーシックレクチャー13

7月10日(金) 9:40~10:10 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 田頭 保彰 (東京科学大学 統合臨床感染症学分野)

BL13 感染対策に活かす実装科学:エビデンスを現場に根付かせるための考え方

島津 太一 (国立研究開発法人 国立がん研究センター)

ベーシックレクチャー14

7月10日(金) 10:15~10:45 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 栗原 英見 (下松デンタルアカデミー専門学校)

BL14 歯科領域における抗菌薬適正使用—抗微生物薬適正使用の手引き第四版歯科編の概要と実践—

田頭 保彰 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野/東京科学大学病院 感染症内科・感染制御部/東京科学大学 感染症センター (TCIDEA))

ベーシックレクチャー15

7月10日(金) 10:50~11:20 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 柳原 克紀 (長崎大学病院 臨床検査科)

BL15 CRE/VRE

山岸 拓也 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター)

ベーシックレクチャー16

7月10日(金) 14:00~14:30 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 遠藤 史郎 (東北医科薬科大学)

BL16 血液培養検査の結果を深〜く読みとる

山本 剛 (大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/大阪大学医学部附属病院感染制御部)

ベーシックレクチャー17 7月10日(金) 14:35~15:05 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長：中谷 佳子 (聖マリアンナ医科大学病院 感染制御部)

BL17 MRSA と ESBL を正しく理解する～定義・環境生存・感染経路から予後まで～

大石 貴幸 (済生会横浜市東部病院 感染管理対策室)

ベーシックレクチャー18 7月10日(金) 15:10~15:40 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長：堀越 裕歩 (東京都立小児総合医療センター 総合診療部 感染症科、免疫科)

BL18 成人RSウイルス感染症の病態と予防

倉井 大輔 (杏林大学 医学部 臨床感染症学)

ベーシックレクチャー19 7月11日(土) 8:30~9:00 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

目で見える外科感染対策

座長：山田 浩司 (溝ノ口整形外科)

BL19-1 目で見える人工股関節周囲感染 (PJI) 対策

内山 勝文 (北里大学医学部 医学教育研究開発センター 医療安全・管理学研究部門)

BL19-2 目で見える外科感染対策

重村 克巳 (倉敷成人病センター)

ベーシックレクチャー20 7月11日(土) 9:05~9:35 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：加藤 博孝 (大崎市民病院岩出山分院)

BL20 ロボット手術における感染対策

下田 次郎 (岩手県立胆沢病院)

ベーシックレクチャー21 7月11日(土) 9:40~10:00 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：橋本 丈代 (福岡大学病院)

BL21 外科系全診療科 SSI サーベイランス実施のための戦略

藤田 明子 (大阪公立大学 大阪国際感染症研究センター 感染管理認定看護師教育課程/前 大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部)

ベーシックレクチャー22 7月11日(土) 10:05~10:35 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：丹羽 隆 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

BL22 抗菌薬の基本～コモンな感染症と治療薬・治療期間～

西 圭史 (日本大学 薬学部 薬剤師教育センター)

ベーシックレクチャー23 7月11日(土) 10:40~11:10 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：村木 優一 (京都薬科大学)

BL23 こう使ってます、新しい抗菌薬：耐性機序に基づく適正使用と実臨床での位置付け

西村 翔 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター 感染症内科)



ベーシックレクチャー24

7月11日(土) 11:15~11:35 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 加来 浩器 (防衛医科大学校)

BL24 エアロゾルと空気感染

岡本 耕 (東京科学大学 統合臨床感染症学分野)

ベーシックレクチャー25

7月11日(土) 14:00~14:30 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 坂木 晴世 (国際医療福祉大学大学院)

BL25 これからはじめるサーベイランス

藤田 烈 (国際医療福祉大学大学院 医学研究科 公衆衛生学専攻)

ベーシックレクチャー26

7月11日(土) 14:35~15:05 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 和田 耕治 (国立健康危機管理研究機構)

BL26 医療従事者における職業感染対策

吉岡 範 (大阪大学 医学部 附属病院 医療技術部 検査部門/大阪大学 医学部 附属病院 臨床検査部)

ベーシックレクチャー27

7月11日(土) 9:05~9:35 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 三澤 成毅 (順天堂大学医療科学部 臨床検査学科)

BL27 検査結果を臨床へ伝える力: 報告例と情報提供の工夫

黒川 正美 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 中央検査部門)

ベーシックレクチャー28

7月11日(土) 9:40~10:10 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 高橋 幹夫 (SGグループ/岩手医科大学医学部総合診療医学講座)

BL28 微生物検査技師さんと一緒に鏡検し、臨床に生かすグラム染色の経験

小野寺千夏 (岩手医科大学附属病院 小児科学講座)

ベーシックレクチャー29

7月11日(土) 10:15~10:45 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 春木 宏介 (獨協医科大学)

BL29 感染症における血清学的検査の解釈: 基本とピットフォール

篠原 浩 (京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学/京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

ベーシックレクチャー30

7月11日(土) 10:50~11:20 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

座長: 小野寺直人 (岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座)

BL30 微生物検査はここから始まる!! ~キホンがわかる検体採取法~

安藤 隆 (東京慈恵会医科大学西部医療センター 中央検査部)

委員会企画1

7月9日(木) 14:30~16:00 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

[注射薬無菌調製の適正化ガイダンス作成委員会] 医療現場における注射薬無菌調製の課題とガイダンス作成の目的

座長：西 圭史（日本大学薬学部 薬剤師教育センター）
 柿内 聡志（長崎大学病院 総合感染症科 感染制御教育センター）

CP1-1 注射薬無菌調製の適正化に向けた薬剤師の役割—非無菌的環境でのエビデンス構築を中心—

佐道 紳一（長崎みなとメディカルセンター 薬剤部）

CP1-2 病棟・外来における注射薬調製の現状と課題—非無菌的環境下での安全な調製に向けて—

富田 学（東邦大学医療センター大森病院 感染管理部）

CP1-3 保険薬局における注射剤調製の現状

由良 温宣（有限会社 由良薬局）

CP1-4 医療現場における注射薬無菌調製の課題とガイダンス作成の目的

中川 博雄（長崎大学病院薬剤部）

委員会企画2

7月9日(木) 14:30~16:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

[災害時感染制御検討委員会] 災害と感染症、感染対策～DICT と連携する他団体の活動と DICT への期待～

座長：泉川 公一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野）
 川村 英樹（鹿児島大学病院）

CP2-1 DMAT の活動と DICT への期待

近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局）

CP2-2 災害と感染症、感染対策～JMAT（日本医師会災害医療チーム）の活動と DICT への期待～

平林 弘久（日本医師会 救急災害医療対策委員会）

CP2-3 災害時における DICT と赤十字救護班の協働

植田 信策（日本赤十字社 医療事業推進本部（兼）事業局救護・福祉部）

CP2-4 厚生労働省委託事業としての DICT の歩みとこれから

川村 英樹（鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 感染症専門医養成講座）

委員会企画3

7月9日(木) 15:30~16:00 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

[臨床研究推進委員会]

座長：三鴨 廣繁（学校法人朝日大学病院）

CP3 感染対策イノベーション 2026

國島 広之（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座）



委員会企画4

7月10日(金) 8:30~10:00 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

[地域セミナー委員会] 地域セミナーの現在地と未来—多様化する地域課題にどう向き合うか—

座長：遠藤 史郎 (東北医科薬科大学)
掛屋 弘 (大阪公立大学)

CP4-1 九州・沖縄地区地域セミナーの取り組み

泉川 公一 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)

CP4-2 地域セミナー(四国ブロック)の開催について 愛媛県での取り組み

田内 久道 (愛媛大学医学部 感染制御部/愛媛大学大学院 感染制御学)

CP4-3 関西・中国ブロックの4年間の取り組みから見た高齢者施設における感染対策の課題

鍋谷 佳子 (大阪大学医学部附属病院)

パネリスト：小山田玲子 (北海道大学病院 感染制御部)
金井信一郎 (信州大学医学部附属病院)
馬場 尚志 (岐阜大学医学部附属病院 感染制御室/生体支援センター)
堀野 哲也 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科)
青柳 哲史 (東北大学)

委員会企画5

7月10日(金) 14:00~15:30 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

[リスクコミュニケーション委員会] 予防接種におけるリテラシーとリスクコミュニケーションについて考える

座長：西 圭史 (日本大学薬学部 薬剤師教育センター)
田崎 陽典 (TAZAKIコミュニケーションコンサルティング)

CP5-1 リスクコミュニケーション総論—予防接種をめぐる主体とリテラシーを考える—

奈良由美子 (放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム)

CP5-2 予防接種従事者の教育の重要性について

神谷 元 (三重大学大学院 医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野)

CP5-3 予防接種推進におけるリテラシーと対話の統合：海外の教育プログラムと国内の最新知見から

齋藤 あや (新潟大学大学院医歯保健学研究科)

CP5-4 特別発言

中島 一敏 (大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)

委員会企画6

7月10日(金) 8:30~10:00 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

[国際委員会 (SHEA)] Isolation Precautions Update and Preparedness for the Next Pandemic

座長：金森 肇 (金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学)
岡本 耕 (東京科学大学統合臨床感染症学分野)
本田 仁 (藤田医科大学)

CP6-1 Respiratory Viral Infection Prevention and Control: Preparing for the Present and the Future

Sharon B. Wright (Chief Infection Prevention Officer, Beth Israel Lahey Health/Past President, Society for Healthcare Epidemiology of America (SHEA), USA)

CP6-2 Isolation Precaution Guideline Update

森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

CP6-3 Emerging Infectious Diseases Preparedness in Japanese Healthcare Facilities: Lessons Learned from the COVID-19 Pandemic

馳 亮太 (日本赤十字社成田赤十字病院 感染症科)

委員会企画7

7月10日(金) 10:10~11:40 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

[国際委員会 (APIC)] Infection Prevention and Control in Long-Term Care Facilities and the Role of Infection Preventionists— Future Perspectives across the United States and Japan—

座長：松永 早苗 (神奈川県立保健福祉大学)
田島 太一 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター AMR臨床リファレンスセンター)
本田 仁 (藤田医科大学)

CP7-1 Infection Prevention and Control in Long Term Care

Katherine Ward (APIC (Association of Professionals in Infection Control and Epidemiology, USA))

CP7-2 日米の高齢者施設における感染管理の比較と共通する課題—制度・施設背景・実践の違いを踏まえて—

藤本 要子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター)

CP7-3 高齢者療養病院における感染管理の実際と課題

金谷 育子 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 看護部)

CP7-4 地域で連携して進める高齢者入居施設の感染対策支援の実際と課題—吹田市の取り組み—

中田 淑子 (地方独立行政法人 市立吹田市民病院)

パネリスト：水野えりこ (独立行政法人国立病院機構 佐賀病院)



委員会企画8

7月10日(金) 14:00~15:30 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

【ホームページ・SNS等運営委員会】学会発信情報いいところ取り 2026~ホームページやメルマガを活用しよう~

座長：金井信一郎(信州大学医学部附属病院)
藤田 烈(国際医療福祉大学)

CP8-1 学会HP：手指衛生の改善のためのサポートサイトの活用

鈴木 由美(NHO 下志津病院 感染症内科/NHO 下志津病院 小児科)

CP8-2 CDC ウォッチを通じた情報発信：15年の歩みと最新の知見

矢野 邦夫(浜松医療センター)

CP8-3 JHI サマリー日本語版を徹底解説—効率的な学術情報の収集とデータから紐解く感染管理のトレンド—

一色 理沙(株式会社モレールコーポレーション 技術開発本部 学術グループ)

委員会企画9

7月10日(金) 15:40~16:40 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

【日本外科感染症学会教育委員会との合同企画】

座長：大毛 宏喜(広島大学)

CP9 術中 SSI 対策を見てみよう~消化器外科編~

畑 啓昭(国立病院機構 京都医療センター 外科・感染制御部)

委員会企画10

7月10日(金) 8:30~10:00 第12会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G312+G313)

【JHAIS委員会】サーベイランス集計結果報告および事例判定解説

座長：森兼 啓太(山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)
黒須 一見(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター)

CP10-1 SSIサーベイランス報告

清水 潤三(市立豊中病院)

CP10-2 デバイスサーベイランス報告①：ICU・一般病棟部門

藤田 烈(国際医療福祉大学)

CP10-3 デバイスサーベイランス報告②：NICU部門

坂木 晴世(国際医療福祉大学大学院)

CP10-4 事例判定：SSI

畑 啓昭(国立病院機構京都医療センター外科・感染制御部)

CP10-5 事例判定：CLABSI

窪田 志穂(国立国際医療センター)

CP10-6 事例判定：CAUTI

縣 智香子(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野)

CP10-7 事例判定：VAE

佐々木顕子(北里大学病院)

委員会企画11

7月10日(金) 10:10~11:40 第12会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G312+G313)

[NICU 感染対策検討委員会] NICU ラウンドを考える

座長：高野八百子（慶應義塾大学病院 感染制御部）

坂木 晴世（国際医療福祉大学大学院）

CP11-1 大学病院 NICU における環境整備の実際—ICT 介入から自立に至る 10 年の取り組み—

三橋 美野（東京大学医学部附属病院 看護部 感染対策センター）

CP11-2 NICU 経験のない CNIC による NICU 感染対策の実際

石川かおり（兵庫医科大学病院）

CP11-3 NICU ラウンドチェックリスト解説①

美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院）

CP11-4 NICU ラウンドチェックリスト解説②

寺坂 陽子（長崎大学病院 感染制御教育センター）

委員会企画12

7月10日(金) 8:30~10:00 第16会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G403+G404)

[C. difficile 感染対策ガイドライン策定委員会] Clostridioides difficile 感染対策ガイド改訂のポイント

座長：國島 広之（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座）

一木 薫（兵庫医科大学病院 看護部）

CP12-1 疫学と診断

森永 芳智（富山大学 学術研究部医学系 微生物学講座）

CP12-2 *Clostridioides difficile* に対する感染対策

中村 敦（名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

CP12-3 CDI 感染対策

森 美菜子（広島大学病院 感染制御部）

CP12-4 CDI 感染対策ガイド改訂のポイント—CDI 患者退室後の清掃・ターミナルクリーニングについて—

三鴨 廣繁（学校法人朝日大学病院 感染症内科/愛知医科大学）



委員会企画13

7月10日(金) 10:10~11:55 第16会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G403+G404)

【教育委員会】 AMR 時代の手指衛生向上にむけて：今ある gap を明らかにする

座長：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)
鈴木 由美 (国立病院機構下志津病院)

CP13-1 日本におけるアクションプランの現状と今後について【様々な GAP を考える】

小谷 聡司 (厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課)

CP13-2 2009年 WHO 手指衛生ガイドライン推奨事項に対して 私たちはどこまで到達できているのか？

鈴木 由美 (NHO 下志津病院 感染症内科/NHO 下志津病院 小児科)

CP13-3 手指衛生向上に向けて WHO 手指衛生多角的戦略を導入した成果と今後の課題

土田 陽子 (横浜南共済病院)

CP13-4 WHO 手指衛生多角的戦略で可視化された組織文化のギャップへのアプローチ

豊留 有香 (名古屋大学医学部附属病院 看護部感染対策/中央感染制御部)

CP13-5 多施設アンケート研究から見えてきた現場の課題

岡本 耕 (東京科学大学 統合臨床感染症学分野)

CP13-6 日本の医療機関等で手指衛生推進に取り組む医療従事者の困難と公的支援のニーズ—リアルタイム Web アンケートによる双方向的な実態調査—

川上 和美 (川崎市立看護大学大学院 看護学研究科 感染看護学領域)

委員会企画14

7月10日(金) 8:30~10:00 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

【職業感染制御委員会】 エピネット日本版最新データ報告と咬みつき・ひっかきを考える

座長：貫井 陽子 (京都府立医科大学)
網中真由美 (国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校)

CP14-1 エピネット日本版サーベイランス (JES) の進展と課題、および最新データの報告

細見由美子 (一般社団法人 職業感染制御研究会)

CP14-2 咬傷・擦過傷の発生状況と背景因子の解析～エピネット日本版サーベイランスデータに基づく職業感染リスクの検討～

大石 貴幸 (済生会横浜市東部病院 感染管理対策室)

CP14-3 患者から医療者へのひっかき・噛みつき予防の取り組み

渡邊 愛子 (NTT 東日本関東病院 感染対策推進室)

CP14-4 咬傷・擦過傷の曝露後対応を考える—感染・安全・心理の三位一体モデル—

吉川 徹 (独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)

委員会企画15

7月10日(金) 10:10~11:40 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

[医療環境委員会] 医療環境とレジオネラ症～基礎から医療機関の対応まで～

座長：古谷 直子 (亀田総合病院地域感染症疫学・予防センター)
浅野美奈子 (社会医療法人河北医療財団河北総合病院手術室)

CP15-1 医療環境とレジオネラ症：疫学

関谷 紀貴 (東京科学大学病院 感染症内科・感染制御部)

CP15-2 レジオネラ症の集団発生事例

中下 愛実 (昭和薬科大学 社会薬学研究室)

CP15-3 レジオネラ症対策とリスク評価

四宮 聡 (医療法人協和会)

CP15-4 医療環境におけるレジオネラ症対策：法的根拠に基づく組織的協働と継続的なリスク管理

古関 義隆 (元 港区衛生試験所)

CP15-5 特別発言

坂本 史衣 (板橋中央総合病院)

委員会企画16

7月10日(金) 15:40~17:10 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

[マスギャザリング関連感染症対策委員会] 現場で考えるマスギャザリング関連感染症 Part.3

座長：吉田 正樹 (新橋南桜パーククリニック)
藤村 茂 (東北医科薬科大学 臨床感染症学教室)

CP16-1 東京オリンピック・パラリンピックの経験から

藤村 茂 (東北医科薬科大学 大学院薬学研究科 臨床感染症学教室)

CP16-2 マスギャザリングイベントにおける感染症危機管理：リスクアセスメント、リスクマネジメント、リスクコミュニケーション

中島 一敏 (大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科)

CP16-3 大阪・関西万博を経験して一国際都市大阪における感染症対策

掛屋 弘 (大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学)

CP16-4 マスギャザリング時代における薬剤耐性菌持ち込み対策—入院時スクリーニングと高度耐性菌対応の実践—

一木 薫 (兵庫医科大学病院 看護部)

CP16-5 大阪・関西万博感染症情報解析センターの取り組みについて

本村 和嗣 (地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 公衆衛生部)

委員会企画17

7月10日(金) 10:10~10:40 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

[利益相反委員会]

座長：黒沼 幸治 (札幌医科大学医学部 感染症講座感染症学分野)

CP17 臨床研究および医療専門職教育における利益相反

樋之津史郎 (札幌医科大学 医学部 医療統計・データ管理学講座)



委員会企画18

7月10日(金) 10:50~11:20 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

[四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス運営委員会]

座長：村木 優一 (京都薬科大学)

CP18 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス報告—*Clostridioides difficile* 感染症—

國島 広之 (聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

委員会企画19

7月10日(金) 15:40~17:10 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

[編集委員会] 報告から原著へ

座長：藤田 烈 (国際医療福祉大学)

堀野 哲也 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科)

CP19-1 日常業務の「？」を論文に変える一屆出制という日本独自の制度に着目した研究の立案から論文の採択まで—

田中 雄大 (東京大学 医学部附属病院 薬剤部)

CP19-2 報告から原著へ：原著採択に必要な研究デザイン・新規性・記述品質の再構築

浜田 幸宏 (高知大学医学部附属病院 薬剤部)

パネリスト：高橋 佳子 (兵庫医科大学病院 薬剤部)

委員会企画20

7月11日(土) 8:30~10:00 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

[ワクチン委員会] 医療関係者のためのワクチンガイドライン第5版

座長：山岸 由佳 (高知大学医学部臨床感染症学講座)

三嶋 廣繁 (学校法人朝日大学病院)

CP20-1 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、水痘ワクチン

多屋 馨子 (神奈川県衛生研究所)

CP20-2 百日せきワクチン

岡田 賢司 (福岡看護大学/福岡歯科大学医科歯科総合病院予防接種センター)

CP20-3 新型コロナワクチン

藤村 茂 (東北医科薬科大学 大学院薬学研究科 臨床感染症学教室)

CP20-4 B型肝炎ワクチン、ダニ媒介性脳炎ワクチン

金井信一郎 (信州大学 医学部附属病院 感染制御室)

委員会企画21

7月11日(土) 10:10~11:40 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

【新興・再興感染症対策委員会】今、取り組むべき新興・再興感染症

座長：松本 哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）
 泉川 公一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野）

CP21-1 *Candida auris* の国内外の現状と必要な対策：診療の手引き第2.0版に基づく最新知見

石金 正裕（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター）

CP21-2 海外から持ち込まれる新興・再興感染症への対応

高谷 紗帆（国際医療福祉大学 成田病院 感染症科/国際医療福祉大学 医学部 感染症学講座）

CP21-3 医療機関における新興・再興感染症検査体制の課題：検査の立場から

山本 剛（大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/大阪大学医学部附属病院感染制御部）

CP21-4 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の現状と診断・治療・感染対策上の注意点

宮崎 泰可（宮崎大学 医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野）

委員会企画22

7月11日(土) 8:30~10:00 第12会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G312+G313)

【認定制度委員会】企画1 新しい認定制度について教えて！

座長：渋谷 智恵（日本看護協会看護研修学校）
 八木 哲也（名古屋大学医学部附属病院）

CP22-1 新しい認定制度（CIP）とは？

八木 哲也（名古屋大学医学部附属病院）

CP22-2 第1ステップ（CIP）の試験制度

坂本 史衣（板橋中央総合病院）

CP22-3 高齢者施設での感染対策の課題と認定制度

大毛 宏喜（日本環境感染学会 認定制度委員会）

委員会企画23

7月11日(土) 10:10~11:40 第12会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G312+G313)

【認定制度委員会】企画2 新認定制度第1ステップに向けた基礎講座

座長：小野 和代（東京科学大学病院）
 八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学）

CP23-1 感染対策に必要な微生物学と感染症治療の基本

堀野 哲也（東京慈恵会医科大学 内科学講座 感染症内科）

CP23-2 標準予防策・感染経路別予防策

三浦 美穂（久留米大学病院 感染制御部）

CP23-3 洗浄・消毒・滅菌

小野寺隆記（社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺病院 感染対策室）

CP23-4 医療環境の感染対策

古谷 直子（亀田総合病院 地域感染症疫学・予防センター）



委員会企画24

7月11日(土) 14:00~15:30 第12会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G312+G313)

【臨床研究推進委員会】医療の場における換気・空調管理ガイド

座長：三嶋 廣繁（学校法人朝日大学病院）
國島 広之（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座）

CP24-1 医療の場における換気・空調管理の基本的な考え

青柳 哲史（東北大学大学院医学系研究科 感染病態学分野/総合感染症学分野）

CP24-2 感染対策としての換気を考える

遠藤 史郎（東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室）

CP24-3 医療施設の空調換気性能と COVID-19 エアロゾル感染への影響

林 基哉（宮城学院女子大学）

CP24-4 医療施設における空調管理の実効性を高める教育・人材育成と多職種連携

美島 路恵（東京慈恵会医科大学附属病院）

委員会企画25

7月11日(土) 14:00~15:30 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

【多剤耐性菌感染制御委員会】みんなで育む多剤耐性菌対策～多職種での実践と最新知見

座長：森永 芳智（富山大学学術研究部医学系微生物学講座）
渡邊都貴子（山陽学園大学 看護学部）

CP25-1 薬剤耐性菌対策の地域連携

川村 英樹（鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 感染症専門医養成講座）

CP25-2 微生物検査が支える薬剤耐性菌対策

小佐井康介（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 薬物治療学）

CP25-3 高齢者施設で耐性菌対策を育めるか？

菅原えりさ（一般社団法人感染防止教育センター/東京医療保健大学）

CP25-4 多職種による臨床微生物ラウンドの実践とその効果

森永 芳智（富山大学 学術研究部医学系 微生物学講座/富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部）

第514回ICD講習会

7月11日(土) 15:40~17:40 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

ワクチンエッセンシャルズ

司会：國島 広之（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座）
堤 武也（東京大学医学部附属病院 感染制御部）

ICD-1 医療従事者のためのワクチンガイドラインのポイント

三嶋 廣繁（学校法人朝日大学病院 感染症内科/愛知医科大学）

ICD-2 女性と妊婦のためのワクチン

川名 敬（日本大学 医学部 産婦人科学系産婦人科学分野）

ICD-3 小児感染症予防における定期接種の役割：これまでの成果とこれからの課題

神谷 元（三重大学大学院 医学系研究科 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野）

ICD-4 成人（ハイリスク者含む）のためのワクチン

岡本 耕（東京科学大学 統合臨床感染症学分野）

Young Challenger Award 受賞講演 7月11日(土) 15:00~15:30 第1会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G1)

座長：四柳 宏 (一般社団法人日本環境感染学会理事長)

03-2 RS ウイルスワクチン接種勧奨における感染管理看護師と医師の職種間連携の有用性

岡田 恵美 (北海道立北見病院 感染管理室)

032-5 院内職員に対するインフルエンザワクチン筋肉内投与による副反応の調査

駒澤 宏紀 (手稲溪仁会病院 感染制御管理室)

053-5 重症心身障害児(者)施設の長期入所集団における *Pseudomonas aeruginosa* の薬剤耐性化傾向の解析

菅原 優 (陽光福祉会 仙台エコー医療療育センター)

053-4 *Clostridioides difficile* 腸炎を対象とした症候群サーベイランスの効果の検討

妙中 勇貴 (埼玉医科大学病院 感染対策室)

025-5 バンコマイシン耐性腸球菌に対する機械学習を用いたスクリーニングモデルの構築

古谷 賢人 (名古屋市立大学大学院医学研究科 感染症学分野/名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 感染症内科/伊豆赤十字病院 内科)

スポンサーシンポジウム 7月10日(金) 8:30~9:30 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

医療施設における感染リスクと空調換気

座長：森屋 恭爾 (東京医療保健大学)

SSP-1 医療施設におけるエアロゾル感染と空調換気対策

菊田 弘輝 (北海道大学)

林 基哉 (宮城学院女子大学)

SSP-2 医療施設における換気性能の実態調査

谷口景一郎 (東京大学大学院工学系研究科)

SSP-3 医療施設における換気性能の実態調査を踏まえた感染リスクシミュレーション

小川 夕季 (ダイキン工業株式会社)

共催：ダイキン工業株式会社

ランチョンセミナー1 7月10日(金) 12:00~13:00 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院 検査部 感染制御部)

LS1 感染症よもやま話~2026年夏トピックス Best 5~

笠原 敬 (奈良県立医科大学 感染症内科学講座)

共催：丸石製薬株式会社

ランチョンセミナー2 7月10日(金) 12:00~13:00 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

いま考えるべき血液培養の課題と最適解

座長：長尾 美紀 (京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学)

LS2-1 医師の視点から

中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部)

LS2-2 看護師の視点から

中川 祐介 (滋賀県立総合病院 看護部 兼 感染管理室)



ランチョンセミナー3

7月10日(金) 12:00~13:00 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

座長：渋谷 智恵 (日本看護協会看護研修学校)

LS3 『私たちのサーベイランス実践 ~つまずきどころと、先駆者が選んだ打ち手~』

細田 清美 (福井県済生会病院)

パネリスト：小林 真美 (長野赤十字病院)

高村 敦史 (熊本労災病院)

共催：NPO 法人 HAICS 研究会

ランチョンセミナー4

7月10日(金) 12:00~13:00 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

エアロゾル対策用空気清浄機を活用した事例発表

座長：賀来 満夫 (聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

LS4-1 医療現場における感染性呼吸器粒子 (IRPs) 対策の現状と課題

遠藤 史郎 (東北医科薬科大学 医学部 感染症教室)

LS4-2 小児科病棟における医療機関向け空気清浄機を活用した陰圧ブースによるアウトブレイク対策

浅井さとみ (東海大学 医学部 基盤診療学系臨床検査学)

松岡 明美 (東海大学医学部附属病院 看護部)

共催：富士フィルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー5

7月10日(金) 12:00~13:00 第6会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G6)

座長：四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構)

**LS5 DPC 時代における新型コロナウイルス感染症対策を考える
—ワクチンの位置付けを考える—**

三鴨 廣繁 (学校法人朝日大学病院 感染症内科)

共催：モデルナ・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー6

7月10日(金) 12:00~13:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

座長：飯沼 由嗣 (金沢医科大学 臨床感染症学講座)

LS6 抗菌薬の安定供給が抱える問題点と今後の方策

松本 哲哉 (国際医療福祉大学医学部 感染症学講座/国際医療福祉大学成田病院 感染制御部)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー7

7月10日(金) 12:00~13:00 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

病室の感染対策におけるイオンレス®(次亜塩素酸水)の活用

座長: 吉田 正樹 (新橋南桜パーククリニック/東京慈恵会医科大学)

LS7-1 小児病棟プレイルームにおける環境菌の実態とイオンレス次亜塩素酸水の空間噴霧の活用—薬剤耐性菌に対する抗菌に対する抗菌・抗バイオフィルムの効果—

屋宮 清仁 (久留米大学医学部 小児科学講座)

LS7-2 Bactericidal efficacy of atomized hypochlorous acid water against CRAB and MRPA in a hospital room.

Sunjo Kim (Department of Laboratory Medicine, GC Labs, Yangsan, Korea)

共催: ニプロ株式会社

ランチョンセミナー8

7月10日(金) 12:00~13:00 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

軟性内視鏡における感染の現状と課題~十二指腸内視鏡リプロセスにおける滅菌ソリューション~

座長: 堤 武也 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

LS8-1

金森 肇 (金沢大学医薬保健研究域医学系 感染症科学・臨床検査医学)

LS8-2

大木 大輔 (東京大学医学部附属病院 感染制御部)

共催: ASP Japan 合同会社

ランチョンセミナー9

7月10日(金) 12:00~13:00 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

座長: 金光 敬二 (東北大学大学院)

LS9 病院環境整備と消毒

尾家 重治 (病院衛生研究所)

共催: 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

ランチョンセミナー10

7月10日(金) 12:00~13:00 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

座長: 大塚 喜人 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部)

LS10 血液培養から始まる感染症診療—Diagnostic Stewardship の実践—

菊池 航紀 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 感染症科)

共催: ビオメリュー・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー11

7月11日(土) 12:00~13:00 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長: 吉田 理香 (東京医療保健大学/大学院 医療保健学研究科感染制御学)

LS11 感染対策とAI~生成AIを活用した手指衛生の直接観察~

中澤 靖 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策部)

共催: 株式会社モレーンコーポレーション



ランチョンセミナー12

7月11日(土) 12:00~13:00 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

座長：山岸 由佳 (高知大学医学部臨床感染症学講座)

LS12 医療関係者のためのワクチンガイドラインにみる新型コロナワクチンの特性と今後の展望

藤村 茂 (東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー13

7月11日(土) 12:00~13:00 第4会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G4)

改訂されたガイドラインに学ぶ CAUTI 予防—Catheter Harm と Catheter Lifecycle に基づくカテーテル管理—

座長：森兼 啓太 (山形大学医学部附属病院)

LS13-1 臨床感染症医の視点で読み解く新ガイドライン—CAUTI 診断の落とし穴と適切な検査・管理のあり方—

藤田 崇宏 (独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター)

LS13-2 Catheter Harm に着目した取り組み実践

美島 路恵 (東京慈恵会医科大学附属病院)

共催：株式会社メディコン

ランチョンセミナー14

7月11日(土) 12:00~13:00 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

今求められる高齢者の呼吸器感染症予防

座長：掛屋 弘 (大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学)

**LS14-1 高齢者の肺炎を「治す」から「防ぐ」へ
～生活機能・認知機能を守る呼吸器感染症予防～**

山本 寛 (東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科)

LS14-2 地域で取り組む高齢者の感染症予防

高山 義浩 (沖縄県立中部病院 地域診療科)

共催：ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ

ランチョンセミナー15

7月11日(土) 12:00~13:00 第7会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G7)

CRBSI 対策の展望

座長：中村 造 (東京医科大学病院)

LS15-1

石塚 孝子 (医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院)

LS15-2

渡邊 健太 (杏林大学医学部附属病院)

共催：ソルベンタム合同会社

ランチョンセミナー16 7月11日(土) 12:00~13:00 第9会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G303+G304)

座長：笹原 鉄平 (自治医科大学附属病院)

LS16 医療施設におけるレジオネラ対策：第5版レジオネラ症防止指針の活用法

安齋 博文 (公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター 調査研究部 検査課)

共催：ポールメディカル

ランチョンセミナー17 7月11日(土) 12:00~13:00 第10会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G302)

院内感染管理における次世代シーケンサーの活用

座長：高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

LS17-1 次世代シーケンスの基礎

奥村 元 (イルミナ株式会社)

LS17-2 感染対策における薬剤耐性菌のゲノム解析とアウトブレイク対応

金森 肇 (金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学)

共催：イルミナ株式会社

ランチョンセミナー18 7月11日(土) 12:00~13:00 第11会場(パシフィコ横浜 ノース 3F G301)

感染症と闘う医療現場の新戦略—院内空気清浄と COVID-19 後遺症への臨床アプローチ

座長：宮下 修行 (関西医科大学内科学第一講座 呼吸器感染症アレルギー科/関西医科大学附属病院 感染制御部)

LS18-1 院内空間を守る科学—Airdog が変える院内感染制御の新戦略—

丸毛 聡 (公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 呼吸器内科・感染症科)

LS18-2 COVID-19 後遺症の臨床実践—診断から治療戦略まで—

平畑 光一 (医療法人社団創友会 ヒラハタクリニック)

共催：株式会社エアドッグジャパン

ランチョンセミナー19 7月11日(土) 12:00~13:00 第17会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G402)

座長：舘田 一博 (東邦大学微生物・感染症学講座)

LS19 Clinical implementation of metagenomic NGS opportunity, obstacles and experience sharing

Yee-Chun Chen (National Institute of Infectious Diseases and Vaccinology, National Health Research Institutes, Taiwan/Department of Medicine, National Taiwan University, College of Medicine, Taiwan/Division of Infectious Diseases, Department of Internal Medicine, National Taiwan University Hospital, Taiwan)

共催：APG アジア準訳ジャパン株式会社

ランチョンセミナー20 7月11日(土) 12:00~13:00 第18会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G401)

座長：國島 広之 (聖マリアンナ医科大学 感染症学)

LS20 高用量インフルエンザワクチンの臨床的意義—75歳以上定期接種時代に75歳未満へどう勧めるか、医療関連感染予防の視点も含めて—

三鴨 廣繁 (学校法人 朝日大学病院 感染症内科)

共催：サノフィ株式会社



スイーツセミナー1

7月10日(金) 15:50~16:50 第2会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G2)

座長：三嶋 廣繁 (学校法人朝日大学病院 感染症内科/愛知医科大学)

SS1 ワクチン接種率の向上に向けて

國島 広之 (聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

スイーツセミナー2

7月10日(金) 15:50~16:50 第3会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G3)

ベスプラで手指衛生を改善しよう！

座長：吉田 理香 (東京医療保健大学/大学院 医療保健学研究科感染制御学)

土井 英史 (一般社団法人日本感染管理支援協会)

SS2-1 ベスプラをやってみよう

藤田 直久 (京都岡本記念病院 感染症科・感染管理対策室)

SS2-2 日本感染管理ベストプラクティス研究会のこれまでと、これから

吉田 理香 (東京医療保健大学/大学院 医療保健学研究科感染制御学)

SS2-3 行政とのコラボワーキンググループ

田辺 正樹 (三重大学医学部附属病院 感染制御部)

SS2-4 Web ワーキンググループ

加藤 彰 (東京医科大学茨城医療センター 感染制御部)

SS2-5 地域での対面ワーキンググループ

菊地 圭介 (京都府立医科大学附属病院 感染対策部)

共催：一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会

スイーツセミナー3

7月10日(金) 15:50~16:50 第5会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G5)

座長：坂本 史衣 (板橋中央総合病院)

SS3 超音波プローブの管理と感染対策の現在地—病院横断調査を踏まえて—

金森 肇 (金沢大学医薬保健研究域医学系 感染症科学・臨床検査医学研究分野)

共催：ナノソニックスジャパン株式会社

スイーツセミナー4

7月10日(金) 15:50~16:50 第8会場(パシフィコ横浜 ノース 1F G8)

インフルエンザ・COVID-19 治療・予防 update

座長：時松 一成 (昭和医科大学病院)

SS4-1 インフルエンザの治療・予防戦略

渡辺 彰 (公益財団法人宮城県結核予防会)

SS4-2 COVID-19 の治療・予防戦略

泉川 公一 (長崎大学)

共催：塩野義製薬株式会社

スイーツセミナー5 7月10日(金) 15:50~16:50 第16会場(パシフィコ横浜 ノース 4F G403+G404)

ICNが知っておくべき環境清拭のポイント

座長：藤倉 雄二（北里大学医学部 感染症内科学）

SS5-1 環境整備に用いられる各種製品の特性と適切な使い分け

入倉 悠（山梨大学医学部附属病院）

SS5-2 環境清拭ワイプの効果を引き出すには—運用と教育の視点から—

森田 真介（久留米大学病院 感染制御部）

共催：杏林製薬株式会社